

The background features five circles of varying shades of light purple. Two circles are solid, while three are hollow outlines. They are arranged in a loose, abstract pattern around the central text.

霊の実「善意」

2009/8/23

ガラテヤ書5章22～23節

これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。

★これらの品性を身につけることは人生の大切な課題である

「善意」(善行)とは

- 隣人を喜ばせ、向上させること

- 「おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。」<ロマ15:2>

- 分け与えること

- 「善を行い、良い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与えるように。」<1テモテ 6:18>

- 誰かを助けること

- 「そこで、イエスは言われた。『あなたたちに尋ねたい。安息日に律法で許されているのは、善を行うことか、悪を行うことか。命を救うことか、滅ぼすことか。』」 <ルカ6:9>

備えられている善行

- 善い業は準備されている

- 「なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。」
＜エフェソ2:10＞

- 善いことが何かを知る

- 「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。」
＜ロマ12:2＞

「善意」は難しい

- パウロの苦悩＜ローマ7:18-24＞

- 「わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。「内なる人」としては神の律法を喜んでいます。わたしの五体にはもう一つの法則があって心の法則と戦い、わたしを、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのが分かります。わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるのでしょうか。」

「善意」は苦しい

●ペトロの決意

- 「罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、**善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶ**なら、これこそ神の御心に適うことです。」
＜1ペトロ2:20＞
- 「神の御心によるのであれば、**善を行って苦しむ方が、悪を行って苦しむよりはよい。**」
＜3:17＞

霊の実「善意」を実らせるには

- 誰に対しても「善意」を持って接する
 - 「善をもって悪に勝ちなさい。」＜ロマ12:21＞
- どうすることが「善いこと」なのか祈り求める
- 努力して実行に移す
- 善いことをしても苦しむことがある
- 誰にも分からないように実行する
 - 「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。」＜マタイ6:3＞

善意の人 石井十次

